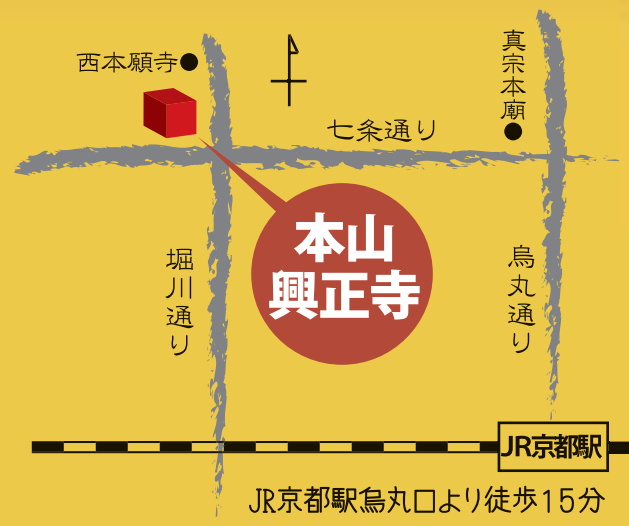


本山だより



アクセスマップ



真宗興正派本山興正寺全景

真宗興正派 本山興正寺

〒600-8261 京都市下京区堀川通七条上ル
TEL 075-371-0075(代) FAX 075-371-8509

本山興正寺

検索

第52号
平成29年
9月



報恩講

平成29年
11月21日(火)~28日(火)

「報恩講」は浄土真宗の開祖・親鸞聖人のご命日法要です。真宗門徒にとって、年中で最も重要な法要として本山のみならず、各寺院、地域、家庭でも営まれてまいりました。本山興正寺では11月28日の親鸞聖人のご命日まで7昼夜、「報恩講」が厳修されます。皆様どうぞご参詣くださいますようご案内申し上げます。

法要日程

- 午前七時 晨朝勤行 (阿弥陀堂・御影堂)
- 午前十時 日中法要 (御影堂)
御堂法話
- 午後二時 逮夜法要 (御影堂)
御堂法話
- 午後四時 初夜勤行 (御影堂)

※11月21日は日中法要はありません。
※11月28日は逮夜法要はありません。

ご案内

- ◆ご伝記拜読 25日初夜
- ◆ご門主ご親教 27日日中後
- ◆御俗姓法章 27日逮夜後



平成30年春の法要

4月13日(金) 14日(土) 15日(日)

素敵な境内イベントも企画されております!



日中って? 速夜って? 法要の名称由来

報恩講の日程には「^{じんじょう}晨朝^{にっちゅう}勤行」「^{たいや}日中^{しよ}法要」「^{たいや}速夜^{しよ}法要」「^{しんじょう}初夜^{にっちゅう}勤行」など日常あまり耳にしない言葉がでてきます。

これは古代インドの時間の捉え方によるものです。古代インドでは^{じんじょう}晨朝・^{にっちゅう}日中・^{ちゅうや}日没・^{しんじょう}初夜・^{ちゅうや}中夜・^{ごや}後夜と1日を6つに分けていました。仏説阿弥陀経というお経の中にも「^{ちゅうや}昼夜六時」という言葉がでてきます。



それが仏教にも取り入れられ、昼夜六回にわたって勤行礼拝が行われるようになりました。報恩講でもお勤めされる善導大師による「^{らいさん}礼讃」も六

時の礼拝の際に^{どくじゆ}読誦するために著されたものです。

^{たいや}速夜とは明日に^{およ}速ぶということで、命日の前日を指します。報恩講のように数日におよぶ法要では、一般的に午後の法要を「^{たいや}速夜法要」と呼びます。ですから、報恩講は11月21日の速夜に始まり、親鸞聖人のご命日にあたる11月28日の日中まで勤められます。

この^{しっちゅうや}七昼夜におよぶ報恩講の形は蓮如上人の時代にはじまったと言われています。蓮如上人は「^ご勸章」の中で【七昼夜の時節にあひあたり、不法不信の根機において

は、往生浄土の信心獲得せしむべきものなり。これしかしながら今月聖人の御正忌の報恩たるべし。（報恩講の七昼夜の期間に、まだ信心を得ていない人は浄土往生の信心をいただきましょう。それこそが親鸞聖人のご命日の報恩というものです）

（4帖8通）と述べています。

皆さま、本山興正寺の報恩講に是非お参りいただき、ご一緒にお念仏申しあげましょう。



帰敬式のご案内

興正寺では報恩講、春の法要の際に帰敬式を受式することができます。詳しくは最寄りの興正派寺院、または真宗興正派宗務所までお気軽にお問合せください。

真宗興正派宗務所
075-371-0075(代)

霊山本廟にも是非お参りください。



産寧(三年)坂の中間に位置し、自然の風光に恵まれた場所に親鸞聖人の廟所・霊山本廟があります。

お問い合わせ

京都市東山区清閑寺霊山町4
Tel.075-561-0940(9時~16時)

教えて、テンマくん!

「^{じんじょう}本山の赤いろうそくは、^{たいや}炎も大きいなあ。
普通の白^{しんじょう}ろうそくと^{ちゅうや}は、^{ごや}ずいぶんと違うなあ。」



ケオンちゃん

エントんくん

テンマくん

赤いろうそく、つまり朱ろうそくは年忌法要や報恩講の時に使うんだ。本来は和ろうそくを使うんだよ。白いろうそくは一般の法要などの時や、朱ろうそくがない時の代用品として使ってね。

仏前結婚式の時には金ろうそく、お通夜やお葬式の時には銀ろうそくを使うんだ。見たことあるかな?

ちなみに和ろうそくは消えにくいので、火の始末にはくれぐれも気をつけてね。

